

やまと文化の森だより 企画展のご案内

併設好評開催中!! (最終日は午後3時までの展示です)

9月の企画展示

9/9 (火) ▶9/28 (日)

○「～むかし山都町で～おさご幻奇譚」挿入原画パネル展

江戸時代に山都町で起きた「仏原騒動」を題材にした梶尾真治氏による小説「おさご幻奇譚」が令和 6 年度の熊本日日新聞にて連載されました。今回、熊本日日新聞社のご協力のもと、山都町米迫にゆかりのある原画作者の村井健太郎さんが手がけた挿入原画のパネル 52 枚を展示します。

10月の企画展示

10/3 (金) ▶10/26 (日)

○小ヶ蔵セロリーズ・馬見原三人組作品展

山都町小ヶ蔵地区女性部のみなさんの手芸品と馬見原在住の三名の作家によるクラフト作品を展示します。

○～刺し子の原点小春日に～ 下川富士子作品展

玉名市在住の作家、下川富士子さんの制作した刺し子作品を展示します。

○マチナカ音楽祭Vol2 10/26 (日) 午後1時～午後3時

ピアノや歌など、町民参加型のミュージックフェスです!

○プティ・マルシェ 10/18 (土) 10/19 (日)

問合 山都町下市16番地 ☎ 72-9400 開館時間 午前9時～午後5時 入館無料
休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日)、年末年始など

山の都移住すまいるセンター通信9月号

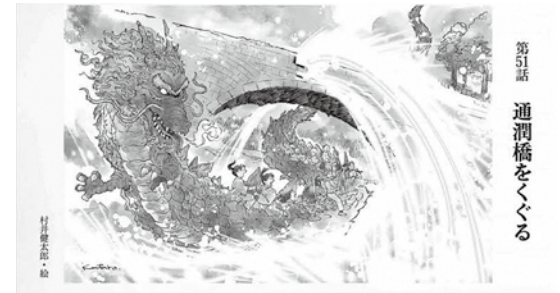
東京で行われた移住相談イベントに参加してきました!

8月3日、東京で熊本県主催の移住相談イベントが開催され、本町も参加しました。このイベントには熊本市、人吉市、水俣市、宇城市、津奈木町など県内各地の自治体に参加し、地域の魅力を伝えました。会場は、熊本出身のお笑い芸人「もっこすファイヤー」のお二人が司会進行を務めたことで笑顔と活気に包まれ、終始賑やかな雰囲気となりました。

イベントには合計で 39 組 51 名もの来場者が訪れ、山都町のブースにもたくさんの方々がお立ち寄りくださいました。特に、山都町への移住に強い関心を持たれている方々もいらっしゃり、直接お話をすることで町の魅力をお伝えする良い機会となりました。

今後も積極的に情報発信を行い、多くの方々に町の魅力を知っていただきながら、移住促進に繋げていきたいと考えています。

問合 山の都創造課 ☎ 72-1158



わたしたちの人権

246

誰もが人間として生きていくうえで
侵すことのできない当然の権利
これが『人権』です



今月は、矢部高校 一年 平岡由伍さんと矢部高校 二年 荒木麻帆さんの作文をご紹介します。

人権作文の紹介(令和六年度)

矢部高等学校二年 平岡由伍

私が人権学習をとおして学んだことは大きく分けて二つあります。

一つ目は、命の重さです。これは命の日の LHR で校長先生が語られたお話から学びました。私は今まで親しい人を突然の事故で亡くしたことはありません。ですので、先生が教えずとの突然の別れの話を読んだ時、それがどれほど辛いものなのか理解できませんでした。突然の死や別れについては、理解したい気持ちとしたくない気持ちが自分の中で混在しています。ですが、身近な命は

もちろん失いたくないので、これからは周りに異変があったらまず疑問を持ち、十分に注意することを意識していきたいです。

二つ目は「人権」についてです。人権とは全ての人間が生まれながらに持っている、人間らしく幸せに生きる権利だと改めて知ることができました。全ての人権は憲法によって尊重されています。にも関わらず人権侵害問題がなくならない理由を考えました。その中で、部落差別のきっかけは穢れ意識だと知りました。それを自分から遠ざけるために、穢れにつながる物事を扱い、穢れを払って欲していた人達に対して、差別的な言動をとったことが始まりだと思いました。その後も強く根付いた差別意識や、その状況を変えようという取り組みに参加する人が少なかったことが原因で、いまだに差別問題がなくなっていないのだと思います。

た。この人権学習をとおして、人権のあるべきあり方について深く考え学ぶことができました。いじめや差別が起こらないよう、身近なところから変えていくことが大切だと思います。この学びを、これからの自分の行動に生かしていきたいと思っています。

言葉の暴力

矢部高等学校二年 荒木麻帆

便利な時代になり、世界中の人々と簡単にやり取りができる SNS。誰もが気軽に自分の意見や思いを投稿できる一方、内容によっては相手を傷つけてしまうこともあります。

私が最近よく耳にする言葉は「誹謗中傷」です。夏休み期間中に行われたパリオリンピックでも選手への誹謗中傷が起こっていました。パリオリンピックに関する SNS のコメント欄が賞賛の声や温かいコメントであふれている一方、「下手くそ」や「辞めてしまえ」などの選手を傷つけるようなコメントもたくさんありました。私はそのコメントを見たとき、少し腹が立ちました。わざわざコメントに書かなくていいのに、と思います。応援メッセージで元気をもらう人たちもいますが、批判す

自分の人権を守り
他人の人権を守る
責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン